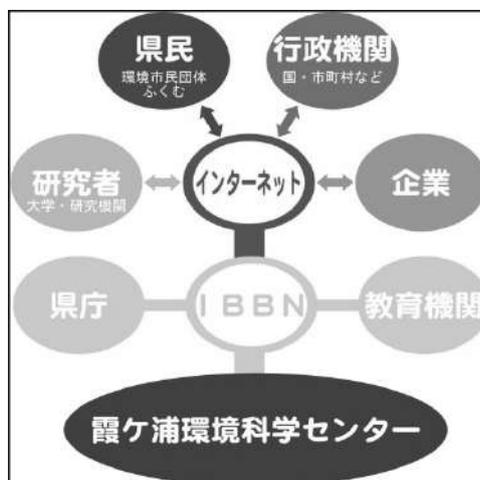


IV 情報・交流

霞ヶ浦などの県内の湖沼をはじめ水環境や大気環境，化学物質などについての研究成果や市民活動の情報など様々な情報を，インターネット等を利用して積極的に収集・整理・発信し，センターの機能である「情報・交流」の面から市民・企業・研究者・行政を結ぶ霞ヶ浦情報ネットワークの充実を図る。



1 情報収集発信事業

(1) 広報紙等のホームページへの掲載

- センター要覧(年1回)
- センター年報(年1回)
- センターのイベントの告知

(2) センター施設での情報提供の充実

- ア 図書の閲覧，貸し出し
主に環境関係の図書及び逐次刊行物を交流サロン及び文献資料室に配置。
・所蔵図書 約2万9千冊（うち貸し出し可能な図書 約8,600冊）
- イ 情報検索用パソコン
交流サロン及び文献資料室にパソコンを配備し環境情報の検索をサポート。
- ウ 霞ヶ浦の本コーナーの設置
交流サロン内に霞ヶ浦関係の文献を集めた「霞ヶ浦の本コーナー」を設けることで，来館者の利便性を向上している。



情報検索用パソコン

2 センターホームページの充実

(1) センター行事の発信

- ア センターで実施する各種講座やイベントの情報発信
- イ ブログを活用した情報発信

(2) 市民団体及び市町村との連携情報発信

- ア 環境市民活動に取り組む市民団体及び市町村から情報収集（概ね3ヶ月に1回）したイベント情報の紹介
- イ 市民活動支援機材の紹介
- ウ サポーター・パートナー制度の紹介



センターホームページ

(3) 研究成果等の発信

- ア 水質等のデータ公開
- イ センター主催のセミナー・シンポジウムの紹介
- ウ 研究状況の紹介

(4) 環境教育

自然観察会等の各種講座及び霞ヶ浦出前講座の紹介

(5) SNSの活用

ツイッターやフェイスブックによる情報発信



ツイッター



フェイスブック

3 公開セミナーの開催

公開セミナー「変化する水環境と生態系」を開催

- ・開催日時 令和2年1月25日（土）13:30～16:00
- ・場 所 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 多目的ホール
- ・参加者 53名
- ・基調講演 「気候変動と海の生物～サンゴ礁の急激な変化～」
講師 国立研究開発法人国立環境研究所
生物・生態系環境研究センター センター長 山野 博哉
- ・事例紹介
 - ① 海の香りが雲を作る～海洋微生物由来の硫化ジメチルと地球環境との関わり～
筑波大学生命環境系 助教 大森 裕子

- ② 北浦の水質を紐解く～水循環・貧酸素水塊の発生～
茨城県霞ヶ浦環境科学センター湖沼環境研究室 主任 小室 俊輔
- ・研究成果ポスターセッション
- ① 霞ヶ浦流域の中学生の環境意識に関する調査報告
～霞ヶ浦湖上体験スクール実施3年後のアンケートの分析～
環境活動推進課 係長 細田 直人
- ② ハス田群の環境負荷は地区により大きく異なる～ハス田群2ヶ所2年の調査結果より～
湖沼環境研究室 主任研究員 佐野 健人
- ③ 牛久沼の水を調べてみると？～牛久沼における水質等調査結果～
湖沼環境研究室 主任研究員 富永 佳子
- ④ 霞ヶ浦が与えてくれる恵みってなんだろう？
～霞ヶ浦の生態系サービスの享受量の変遷と特徴～
湖沼環境研究室 主任研究員 北村 立実
- ⑤ 霞ヶ浦は気候変動の影響を受けているの？
～水質および植物プランクトンのレジームシフト解析～
湖沼環境研究室 主任 小室 俊輔
- ⑥ 霞ヶ浦に降り注ぐ雨や大気の汚れを見る
～霞ヶ浦における全大気降下物および湿性降下物による汚濁負荷～
湖沼環境研究室 主任 大内 孝雄
- ⑦ 北浦の窒素はなぜ高い？～北浦流域における窒素の動態に関する調査研究～
湖沼環境研究室 技師 菊地 哲郎
- ⑧ ちいさな生き物たちの姿を、みつめる
～最近の霞ヶ浦における植物プランクトン群集の変化～
湖沼環境研究室 技師 長濱 祐美
- ⑨ 生物から川の環境をさぐる～付着珪藻による新川の水質評価～
湖沼環境研究室 流動研究員 古川 真莉子
- ⑩ 大気中のPM2.5はきれいになった？
～茨城県における微小粒子状物質（PM2.5）の推移～
大気・化学物質研究室 主任 細井 寛文
- ⑪ 百里飛行場周辺における航空機騒音実態調査～環境基準の達成状況～
大気・化学物質研究室 主任 中村 美早紀
- ⑫ 今、酸性雨はどうなっている？～茨城県における酸性雨の推移と現状～
大気・化学物質研究室 主任 吉田 彩美
- ⑬ 茨城県の空気はきれいになった？～茨城県における有害大気汚染物質調査について～
大気・化学物質研究室 主任 沼田 健吾



公開セミナー（左：多目的ホール，右：ポスターセッション）